

全員協議会で「組織機構改革」が発表される！



現在の理科大跡地

少子高齢化進行の中、安心して子どもを産み育てることができるまちづくり推進、子育て支援機能の更なる強化につなげるとして教育部・健康増進部が移転します

教育部また移転！

健康増進部は名称変更

今年4月に、菖蒲支所から東京理科大跡地に移転したばかりの教育部が、再び移転する先は鷲宮総合支所です。2階には生涯学習課・学校給食課・文化財保護課が、3階には教育長室のほか、教育総務課・指導課・学務課、5階は教科書センター、相談室、適応指導教室などを設ける教育センターが入ります。

健康増進部は「健康・子ども未来部」に名称を変更するとともに、これまで福祉部にあった子育て支援課・保育課を移管します。

子育て世代包括支援センターとの一体的な取り組みの推進、子育てと教育の一貫した支援体制の充実を図りますが、子育て支援センターは東京理科大跡地に配置します。一体性という点では疑問が残ります。

「経費削減ありき」で市民サービス低下は困ります
 11月20日に行われた議員全員協議会にて、梅田市長より平成31年度4月1日付の組織機構の見直しについて説明がありました。
 アセットマネジメント（老朽化した市有建築物の統廃合を含めた管理計画）推進課を設ける事など、かなりの機構改革が打ち出されました。

併前の各地区で事業を行なっています。業務内容としては、母子保健指導、歯科保健事業、生活習慣病予防の検診・指導、成人、老人の保健事業など総合的な保健サービスを提供する身近な施設です。特に、健康相談では、各地域の健康に関するニーズに答え、住民の健康を助ける身近な施設として設置されているものです。

今回の計画では、各地域の保健センターについて平時は閉鎖をし、健診の時は利用するという事です。
 市民に寄り添ったサービスをなくす計画と言わざるを得ません。

住民の健康を身近で相談のしてくれる保健師さんが中央（理科大跡地）に行ってしまう事になります。
 健康や精神的内容の相談や母子手帳交付、母子相談は車が無いと出来ない事になり兼ねません。統合による人員の削減となれば、保健師さんの訪問事業もこれまでの様にすぐに来てくれるかわかりません。

住民と一番接点を持ち住民の健康を気遣い、寄り添うべき場所が住民から遠くなる今回の計画は、考え直すべきです。

久喜市栗橋小の給食（自校調理）が埼玉県の給食コンクールでナンバーワンになった！



カラーで見せてあげたい

栗橋小学校の学校給食。自由献立部門で見事一位に「栗橋」の地名を生かして「いがぐりのコロッケ」をメニューに取り入れたとのこと。自校給食ならではの！

大東市の健康づくりと住民力は本物か！



◆福祉健康常任委員会では、10月15日から17日にかけて、行政視察を行いました。そのうちの大東市では、住民と行政が一体となり、高齢化に伴う介護保険などの行政経費を「健康づくり、介護予防」の推進で削減してきたというので、期待いっぱいでした。

☆「元気でまっせ体操」クローズアップ現代でも！
 高齢者が各地域で集まり、みんなでテレビに映し出される体操を見ながら体を動かしていました。

週に一度、1700人が身体を動かしている事実は重いものがあります。

◆体操のDVDあります。お貸ししますよ



保健センターを1か所に統合やるべきではない！

ごみ処理施設建設の広域化問題について
 (幸手市・杉戸町のごみ処理も久喜市で?)



市民に
 メリットはあるか

渡辺まさよ

◆現在、久喜市ではごみ処理施設を統合し、新処理炉の計画が進んでいます。これまでもお知らせした通り、八甫清掃センターと久喜宮代清掃センターを統合し、菖蒲焼却場を大型化する計画に加え、杉戸町と幸手市の可燃ごみを久喜市で焼却する広域化が検討されています。

広域化に関する試算が

先日、市から「広域化に関する試算」が出されました。これによると、施設規模としては、70トン/日のごみ量の増(この量はこれまでの計画炉2基で焼却可能)。経済的試算では、38億円から40億円の削減、売電効果は10億円の増が見込まれる。環境面の試算では、走行車両は1.2%の増であり、近隣への影響は、極力避けられるとされています。今後、広域処理をする場合の建設費と維持管理費の負担割合(均等割・人口割など)について幸手市、杉戸町、宮代町と協議をするとしています。さらに議員から要求が強かった住民への説明会は、11月24日、26日に開かれます。「誰でも参加可能」

居住環境が

守られるか検証を

◆今回の広域化における試算結果は「広域化ありき」のように、経済面でのメリットが強調され、市民がこうむるデメリットのことは検討されていないように考えます。ごみの問題は住民感情も問題となることから、理解が得られない広域化は進めるべきではありません。

資源ごみ回収 自治会に

さらに、久喜宮代衛生組合では、資源ごみの公共回収をやめ、自治会に任せられた集団回収へと切り替える「モデル事業」が10月から開始されています。市内の9自治会で、自治会が自ら契約した回収業者に資源ゴミを回収してもらい、公共回収はやらないこととなります。すでに集団回収をしているPTAなどへの影響や取り残しゴミ、資源ゴミの価格変動など検討問題はたくさんあります。市民の住生活を守る為のゴミ処理は自治体が背負う公共の責任でもあります。モデル事業の結果を市民の立場から検証しなければなりません。

「市民が第一」で一般質問します！傍聴においで下さい

平間ますみ

12月3日 4番目

1. 小・中学校給食費に補助金制度を創設し子育て支援を求める。
2. 通学路の危険なブロック塀の補修・改善に助成制度の創設を。
3. 中央公民館の駐車場増設を求める。
4. 小中学校トイレの改善を求める。
5. 社会保障制度である国保税の制度を見直し、はらえる税額に。



子どもにも
 国保税がかかる



先生も
 つかれてる！

石田としはる

12月4日3番目

1. 済生会栗橋病院が移転。地域医療の確保が危うい。久喜市が果たす役割は重要。
2. 地域公共交通はまちづくりの根幹。利便性向上に向け提案も示しながら質問。
3. 栗橋総合支所内、統合で空き室が増加。地域の拠点である支所の活用を求める。
4. 猛暑の影響は学校の授業にも影響している。小中学校の体育館にエアコン設置を求める。
5. 教職員の長時間労働を是正し、学校がよりよい教育の場となるよう提案する。

渡辺昌代

12月6日 4番目

1. 理科大跡地の物流センターとの協定書はレッドウッドと取り交わすべき。住民からの相談窓口はどこになるのか。
2. 保健センターの統合はせず、各地域の保健センターは継続すべき。
3. あおば保育園は公立保育園として存続すべき。
4. 「子ども食堂」の拡大と江戸川区で行なっているような「おうち食堂」子どもごはん便を取り入れてはどうか。
5. 久喜南2・3丁目の交通増の解消の取り組み、側溝の蓋かけ、ジャリ道の舗装を進めるべき。

本会議の日程

21日 金	11日 火	7日 金	6日 木	4日 火	3日 月	27日 火
討論・採決	議案質疑	〃	〃	〃	一般質問	開会・本会議
		4日目	3日目	2日目	1日目	

杉野おさむ

12月7日2番目

1. JR東鷲宮駅の東西ロータリーにシェルター(屋根)の設置を。
2. 災害時の「避難所」運営は、避難者の視点から見直し・改善を。
3. 医療費「妊婦加算」に市の助成の検討を。
4. すべての片目失明者にも障がい者としてサービスを提供すべき。
5. わし宮団地の建て替えに伴う家賃補助など支援策をもとめる。